



8月



発行責任者

校長 石原 優子

今月の行事予定表など、学校の最新情報を五島高校ホームページに掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www2.news.ed.jp/section/goto-h/>



## 【校長室より】

## 自分が持っている優れた能力を伸ばしよう

この夏も生徒達の努力が実る素晴らしい日々でした。第72回NHK杯全国高校放送コンテストアナウンス部門で熊川千絵美さんが全国で第3位という快挙、第70回長崎県吹奏楽コンクールでは古賀笑実理さん率いる吹奏楽部が6年ぶりの金賞を受賞、令和7年度インターアクトクラブ年次大会社会奉仕部門では今村朔陽さん率いる創部40年のインターアクトクラブが長崎県で唯一の銀賞を受賞しました。分野は異なりますが思いは一つ、自らの力を信じて最後まで努力し、自分たちができることに全身全霊を尽くした結果だったのではないのでしょうか。五高生のひたむきに精進できる姿にいつも胸がいっぱいになります。これからも互いに切磋琢磨しながら努力できる人であってほしいと願います。

さて、8月25日全校集会における校長講話の一部を紹介いたします。

2学期が始まり、やる気いっぱいの人もいれば、もしかすると前向きになれず壁を感じている人もいるかもしれません。その壁について、「すべての壁は扉である。その扉の鍵はいつも君たちの手の中にある」と。鍵を見つけるためのヒントとして「神様はすべての人に2つのものを授けた。その2つとは、24時間という時間と優れた能力である」のです。

1つ目の「時間」は何事にも代えられないアイテムで、最大限かつ有用に使っていくことに間違いはないし、時間を意識した行動が重要です。さらに重要な2つ目は「人にはすべて優れた能力を持ち合わせている」ことです。皆さんは自らの良さや優れた能力を見つけ、伸ばしていますか？他人と比べず、自らの得意なことを見定めどんな方法で伸ばすことができるか考えてほしいのです。自分がどうなりたいか、どのような人生を歩みたいかを見据えて、自らの良さを正しく判断し、自身の能力を伸ばすよう一歩ずつ行動してほしいと思います。常に新しい自分を求め挑戦を続けることで、自分の人生をより良いものに変えていきましょう。

## 3年生夏季集中学習会

7月30日(水)～8月5日(火)の5日間（土曜日、日曜日は全統マーク模試）の日程で、3年生普通科普通コースの生徒を対象とした「夏季集中学習会」を実施しました。今年度からは、自学・質問に加え、講座・模試解説・問題分析（難関大志願者を対象）の時間を取り入れました。学習会を通して、お互いが「切磋琢磨」しながら勉強に励んでいる姿が印象的でした。また、日頃の学習への取り組みについて考えたり、自分の弱さに向き合ういい機会になったと思います。この学習会に参加したからといって、学力が飛躍的に向上するわけではありません。あくまで今回の学習会は、「きっかけ作り」だと思います。学習会で得た学びをこれからも継続して、進路実現を達成させましょう。



## 平和学習

8月9日(土)に平和学習を行いました。今年度は「戦争経験を伝承する」というテーマで授業を行いました。戦争経験が絵画や文学によって伝承されるということを伝え、フランシスコ・デ・ゴヤの〈戦争の惨禍〉や石垣りんの詩〈崖〉を鑑賞しました。生徒からは、「自分自身が長崎県民だから、平和への意識が高い。県外に行ったら8月9日のことなどを他の人に伝えていきたい」「（詩を読んで）死にたくないのに自ら命を絶たないといけないという状況はあってはならない」「まずは自分が知る」「周囲の人と共有したい」など、平和について深く考えた感想が寄せられました。

## 第72回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会および第49回全国高等学校総合文化祭（かがわ総文2025）を終えて

7月21日（月）～24日（木）に東京都で開催された「第72回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会」のアナウンス部門に、放送部3年の熊川千絵美さんが出場しました。アナウンス部門では、自作の校内ニュース原稿を1分30秒以内で発表し、内容やアナウンス技術を審査されます。最終結果は見事、優秀（全国3位）に輝きました。続いて、熊川さんは7月29日（火）～31日（木）に香川県で開催された「第49回全国高等学校総合文化祭（かがわ総文2025）」のアナウンス部門に出場しました。残念ながら入賞はできませんでしたが、全国の高校生に「五島うどんの魅力」を伝えることができました。応援ありがとうございました。



## 全国小倉百人一首かるた高等学校選手権大会

私たち百人一首かるた部は、7月27日（日）から香川県で行われた全国総文祭に出場しました。予選ブロックでは、千葉、鳥取、高知と対戦し、結果は予選敗退となりました。しかし、高知県に勝利し長崎県として初めて団体戦で勝つことができました。3年生にとっては最後の大会であり、練習の成果を発揮でき、今までで最高のプレーをすることができました。また、全国の舞台で同世代の選手と交流することは、今後の人生において貴重な経験となりました。現在は、2年生中心の新体制で、日々練習に励んでいます。これからも応援よろしくお願ひします。



## 令和7年度全九州高等学校総合体育大会柔道競技に参加して

6月21日（土）・22日（日）の2日間、クラスス武道センター（大分市）において全九州高等学校総合体育大会柔道競技が開催されました。本校からは、女子団体戦に5名（1年5組三浦梨子、2年5組岡山愛未、城山舞佳、3年2組山内鈴葉、3年5組山本心愛、3年6組前田愁花）女子個人戦に3名（城山、山本、山内）が出場しました。その中でも、個人163kg級に出場した城山舞佳さんが準決勝で惜しくも敗れはしましたが、3位入賞を果たすことができました。この経験を生かし更に向上していけるように精進してまいります。今後とも応援、よろしくお願ひいたします。



## 吹奏楽コンクール

本校吹奏楽部は7月19日（土）に行われた長崎県吹奏楽コンクールに出場し、6年ぶりとなる金賞を受賞しました。課題曲の杉山義隆作曲「祝い唄と踊り唄による幻想曲」、自由曲の西村朗作曲「秘儀Ⅱ」2曲を演奏し、日ごろの練習の成果を十分に発揮することができました。長崎県のコンクールは最大55人が出場できるA編成部門のみの実施であり、本校は18人という小編成での出場でした。その中で金賞をいただけたことは、私たち吹奏楽部にとって大きな快挙であり、自信にもつながる出来事となりました。このような結果を残すことができたのは先生方、保護者の皆様、そして応援してくださったすべての方々のおかげです。心より感謝申し上げます。今後も感謝の気持ちを忘れず、音楽を通して地域に貢献できるよう、部員一同励んでまいります。

（部長 古賀笑実理さんのコメント）

毎年努力しても金賞に届かず、少人数で本土の大編成と戦う壁に悩み続けました。それでも全員が諦めず、金賞を目標に本気で取り組んでくれたことが部長として本当に誇りしかったです。一人一人の強い思いと努力がこの結果を導いてくれました。支えてくださった先生方、仲間、保護者の皆様に心から感謝します。

